



はれるんマガジン

～気象・地震に関わる素朴な疑問に答えます～ 発行：福岡管区气象台

今月の素朴な疑問

いちばん暑い時期の8月7日頃に「立秋」が来るのはなぜ？

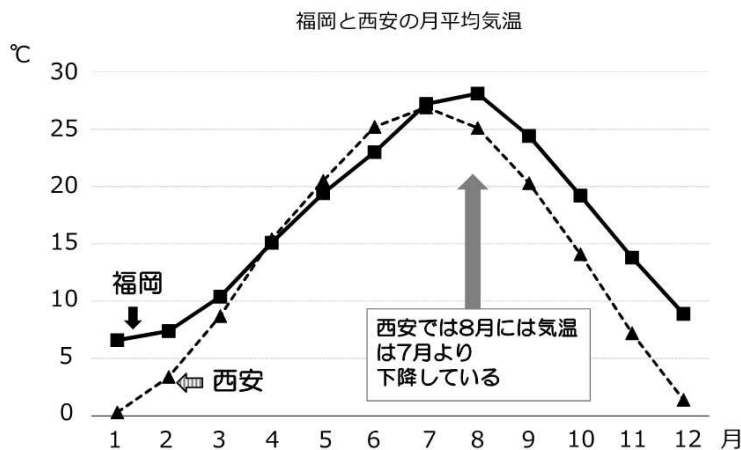
「立秋」が作られた中国では日本より季節の進みが早く、8月7日頃にはすでにかなり涼しくなっていく時期だからです。

福岡の平年の気温は8月上旬頃に最も高くなりますが、その後半の8月7日頃には早くも「立秋」となります。

「立秋」や「立春」、「春分」、「夏至」、「秋分」などは「二十四節気」とよばれますが、これは1年の太陽の動きをもとに決められるもので、2千年以上前の古代中国で作られました。まず太陽の動き(昼の長さ)から「春分」、「夏至」、「秋分」、「冬至」が決まり、各期間の中央に「立春」、「立夏」などがきます。さらに、その間を三等分するように二つの気名が入り、二十四節気になっています。このころの中国の中心は中原とよばれる黄河の中・下流域あたりです。従って二十四節気はこの地方の四季の変化に合うように作られています。



太陽の高さや昼の長さは一年のうちで変わり、夏は冬より日射が強く、長い時間日が照るのでもっとも暑くなります。また、冬は逆に日射が弱く、日が照る時間が短くなるので寒くなります。大陸は海洋と比べると温まりやすく、冷えやすい性質があります。このため、大陸では海洋より季節の進みが早くなります。



図は古代中国の都にもなった西安(昔は長安と呼ばれました)と福岡の平均気温の変化です。真冬は西安の気温は福岡より低いですが、春になると急速に気温が上昇し、4月ころには追いつき、5月、6月は西安のほうが気温は高くなります。その後7月には西安ではピークを迎え、

8月にはすでに下降が始まります。すなわち8月に入るとすでに秋が始まりつつあることがわかります。これに対して福岡では海洋の影響を受けて、最も気温が高い月が遅れ8月になっています。日本は島国であるため、大陸より温まりにくく冷えにくい海洋の影響を西安より強く受け、季節の進みが遅れると考えられます。また、福岡では7月後半に曇りや雨の日が多い梅雨が明け、それから夏の晴れて暑い日が多くなることも影響しています。

この「立秋」などの二十四節気は日本に伝わって千年以上たっており、今では少し季節の進みを先取りしがちであるというところも含めて、人々の暮らしの中にすっかり溶け込んでいるようです。例年ですと立秋が過ぎてしばらくすると秋風が吹いてきますが、今年はどうでしょうか？

	二十四節気	意味	2020年
春	立春	春の気配が感じられる	2月4日
	雨水	雪が雨に変わる	2月19日
	啓蟄	虫が土からはい出てくる	3月5日
	春分	この日から昼が長くなる	3月20日
	清明	草木が生き生きする	4月4日
	穀雨	穀物に恵みの雨が降る	4月19日
夏	立夏	夏の気配が感じられる	5月5日
	小満	万物が生気に満ちてくる	5月20日
	芒種	稲などの穀物の種をまくとき	6月5日
	夏至	昼が一番長くなる	6月21日
	小暑	暑くなる	7月7日
	大暑	もっとも暑くなる	7月22日
秋	立秋	秋の気配が感じられる	8月7日
	処暑	暑さがおさまる	8月23日
	白露	白露が草に宿る	9月7日
	秋分	この日から昼が短くなる	9月22日
	寒露	野草に露がむすぶ	10月8日
	霜降	初霜が降りる	10月23日
冬	立冬	冬の気配が感じられる	11月7日
	小雪	雪がちらつくようになる	11月22日
	大雪	雪が多く降るようになる	12月7日
	冬至	昼が一番短くなる	12月21日
	小寒	寒さが増してくる	1月6日
	大寒	最も寒くなる	1月20日

(参考) 二十四節気

ご意見をお待ちしています

お気づきの点があればご意見をお寄せください。また、素朴な疑問や質問を募集します。電子メール、Fax、あるいは郵便（はがき、封書）で下の宛先までお送りください。お待ちしております。

問合せ先

〒810-0052 福岡市中央区大濠 1-2-36

福岡管区気象台防災調査課はれるんマガジン編集部

電話：092-725-3614

Fax：092-725-3163

e-mail：fukuoka_bousaichousa●met.kishou.go.jp

●マークは半角@に置き換えてください

次回の発行は9月の予定です。